

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	真狩村	真狩	平成29年度	平成31年度	真狩村

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
必須 目標	① 経営面積の拡大	2 ----- 2	2	6 ----- 100.0%
	② 農業の6次産業化	0 ----- 0	1	3 ----- 66.7%
	③ 農産物の高付加価値化	3 ----- 2	3	3 ----- 0.0%
	④ 経営コストの縮減	1 ----- 0	1	1 ----- 100.0%
選択 目標	⑤ 耕作放棄地の解消	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----
	⑥ 農業経営の複合化	----- ----- -----	----- ----- -----	----- ----- -----
	⑦ 農業経営の法人化	0 ----- 0	0	1 ----- 0
	⑧ 雇用	2 ----- 2	2	2 ----- 100.0%

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
			1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
1	農業の6次産業化 (スイートコーンの直売の拡大)	24,450本 (1カ所)	24,450本 (1カ所)	24,450本 (1カ所)	26,000本 (2カ所)	-
			30,600本 (1カ所)			
	経営コストの縮減	経営費 61,921円 /10a	経営費 60,974円 /10a	経営費 60,974円 /10a	経営費 60,974円 /10a	-1497.5%
			経営費 76,102円 /10a			
2	経営面積の拡大	自己所有 15.3ha 利用権設定 6.8ha 合計22.1ha スイートコーン 3.1ha	自己所有 15.3ha 利用権設定 6.8ha 合計22.1ha スイートコーン 3.1ha	自己所有 15.3ha 利用権設定 6.8ha 合計22.1ha スイートコーン 3.1ha	自己所有 15.3ha 利用権設定 7.2ha 合計22.5ha スイートコーン3.5ha	-
			22.1ha			
	農産物の高付加価値化 (人参の正品率向上)	79.1%	79.5%	80.0%	80.5%	-250.0%
			78.1%			
3	経営面積の拡大	自己所有 17.8ha 利用権設定 15.7ha 合計33.5ha 大根6.5ha 馬鈴しょ 8.0ha	自己所有 17.8ha 利用権設定 20.2ha 合計38.0ha 大根9.0ha 馬鈴しょ10.0ha	自己所有 17.8ha 利用権設定 20.2ha 合計38.0ha 大根9.0ha 馬鈴しょ10.0ha	自己所有 17.8ha 利用権設定 20.2ha 合計38.0ha 大根9.0ha 馬鈴しょ10.0ha	288.9%
			46.5ha			
	農業経営の法人化	個人	個人	個人	法人	250.0%
			個人			
4	経営面積の拡大	自己所有 22.3ha 利用権設定 2.9ha 合計25.2ha ブロッコリー 3.8ha 馬鈴しょ 4.4ha 人参 2.8ha	自己所有 22.3ha 利用権設定 2.9ha 合計25.2ha ブロッコリー-3.8ha 馬鈴しょ 4.4ha 人参 2.8ha	自己所有 22.3ha 利用権設定 2.9ha 合計25.2ha ブロッコリー-3.8ha 馬鈴しょ 4.4ha 人参 2.8ha	自己所有 22.3ha 利用権設定 4.9ha 合計27.2ha ブロッコリー-4.5ha 馬鈴しょ 5.1ha 人参 3.4ha	1041.4%
			25.2ha			
	農産物の高付加価値化 (ブロッコリーの正品率向上)	91.1%	91.5%	92.0%	92.0%	-
			96.5%			

5	経営面積の拡大	自己所有 33.7ha 利用権設定 9.4ha 合計43.1ha 馬鈴しょ 10.0ha	自己所有 33.7ha 利用権設定 9.4ha 合計43.1ha 馬鈴しょ10.0ha	自己所有 33.7ha 利用権設定 9.4ha 合計43.1ha 馬鈴しょ10.0ha	自己所有 33.7ha 利用権設定 13.4ha 合計47.1ha 馬鈴しょ14.0ha	—
	農産物の高付加価値化 (馬鈴しょの単価向上)	85円/kg	90円/kg	90円/kg	90円/kg	100.0%
6	経営面積の拡大	自己所有 16.3ha 利用権設定 17.8ha 合計34.1ha 長いも0ha 大豆3.0ha	自己所有 16.3ha 利用権設定 17.8ha 合計34.1ha 長いも1.0ha 大豆2.0ha	自己所有 16.3ha 利用権設定 17.8ha 合計34.1ha 長いも1.0ha 大豆2.0ha	自己所有 16.3ha 利用権設定 19.8ha 合計36.1ha 長いも2.0ha 大豆3.0ha	—
	雇用	0名	1名	1名	1名	100.0%
7	農業の6次産業化 (加工用馬鈴しょの契約栽培)	取組なし	取組なし	17,500kg (1ヶ所)	17,500kg (1ヶ所)	—
	雇用	0名	1名	1名	1名	100.0%
8	経営面積の拡大	自己所有 28.0ha 利用権設定 1.9ha 合計29.9ha 黒大豆1.0ha	自己所有 29.2ha 利用権設定 1.9ha 合計31.1ha 黒大豆2.2ha	自己所有 29.2ha 利用権設定 1.9ha 合計31.1ha 黒大豆2.2ha	自己所有 29.2ha 利用権設定 1.9ha 合計31.1ha 黒大豆2.2ha	341.7%
	農業の6次産業化 (地区内生産割合100%)	黒大豆の加工販売 0千円 (0ヶ所)	黒大豆の加工販売 0千円 (0ヶ所)	黒大豆の加工販売 0千円 (0ヶ所)	黒大豆の加工販売 100千円 (1ヶ所)	—

Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

対象経営体の目標達成状況については、おおむね順調に推移していると判断する。目標を達成していない経営体にあっても、目標達成に向けて改善していることを確認していることから、目標が達成される見込みである。
2年度目は、地区の成果目標4項目のうち「経営コストの縮減」(0%)と「農産物の高付加価値化」(66%)において目標を達成することができなかった。

・「経営コストの縮減」については、農薬代等の資材費が高騰したことにより目標を達成することが出来なかった。今後は、関係機関と連携し、対象経営体に対しコスト縮減に向けた指導を行うことにより目標達成を目指す。

・「農産物の高付加価値化」については、にんじんの正品率が目標を下回ったことにより、目標を達成することが出来なかった。今後は、関係機関と連携し、対象経営体に対し正品率向上に向けた指導を行うことにより目標達成を目指す。